

2020 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科   | 臨床工学技士学科    |                                   | 科 目 区 分  | 専門基礎分野                       | 授業の方法                                       | 講義            |
|---|-------------|-----------------------------------|--|------------------------------|---|---------------|
| 科 目 名   | 形態機能学Ⅲ      |                                   | 必修/選択の別  | 必修                           | 授業時数(単位数)                                   | 30 (1) 時間(単位) |
| 対 象 学 年   | 一年次         |                                   | 学期及び曜時限  | 後期                           | 教室名   | 403教室         |
| 担 当 教 員   | 細貝 正江       | 実務経験と<br>その関連資格                   | 鳥取大学医学部および関連医療専門学校において、基礎医学(生理学)を担当し、神経生理学に関する研究を行ってきた。 博士(医学)、日本生理学会評議員 |                              |   |               |
| <p>《授業科目における学習内容》</p> <p>この科目では、環境の変化にすばやく反応する機能として、筋の収縮による運動機能、思考や記憶を司る中枢神経機能を学習する。人体の構造と機能を有機的に繋ぎ、系統的に各器官の位置関係、形状、内部構造を学び、あわせて各器官の機能、人体における役割を学んでいく。1.体の構造や機能に関する用語とその意味を正しく理解する。2.からだの機能を構造に結びつけて理解する。3.からだの正常な機能と構造から、異常となるメカニズムを推測できる。</p> |             |                                   |  |                              |   |               |
| <p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>筆記試験(100点)で評価する。</p>   |             |                                   |  |                              |   |               |
| <p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>【教科書】「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」 医学書院<br/>                 【副読本】「系統看護学講座準拠 解剖生理学ワークブック」 医学書院</p>  |             |                                   |  |                              |   |               |
| <p>《授業外における学習方法》</p> <p>講義のノートまとめ(図も記載)、プリント課題</p>  |             |                                   |  |                              |   |               |
| <p>《履修に当たっての留意点》</p>  |             |                                   |  |                              |   |               |
| 授業の方法   | 内 容         |                                   |  | 使用教材                         | 授業以外での準備学習の具体的な内容                           |               |
| 第1回   | 授業を通じての到達目標 | 神経膠・神経細胞について理解でき、説明できる。           |  | 「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」 医学書院 | ・講義のノートまとめ(図も記載すること)<br>・プリント課題<br>いずれも毎回提出 |               |
|   | 各コマにおける授業予定 | 1. 神経組織:その構造と機能<br>1) 神経膠 2) 神経細胞 |  |                              |   |               |
| 第2回   | 授業を通じての到達目標 | 脳の構造と機能について理解でき、説明できる。            |  | 「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」 医学書院 | ・講義のノートまとめ(図も記載すること)<br>・プリント課題<br>いずれも毎回提出 |               |
|   | 各コマにおける授業予定 | 2. 中枢神経系<br>1) 脳の構造と機能-1          |  |                              |   |               |
| 第3回   | 授業を通じての到達目標 | 脳の構造と機能について理解でき、説明できる。            |  | 「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」 医学書院 | ・講義のノートまとめ(図も記載すること)<br>・プリント課題<br>いずれも毎回提出 |               |
|   | 各コマにおける授業予定 | 脳の構造と機能-2                         |  |                              |   |               |
| 第4回   | 授業を通じての到達目標 | 中枢神経系を保護する組織・脳の障害について理解でき、説明できる。  |  | 「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」 医学書院 | ・講義のノートまとめ(図も記載すること)<br>・プリント課題<br>いずれも毎回提出 |               |
|   | 各コマにおける授業予定 | 2) 中枢神経系を保護する組織<br>3) 脳の障害        |  |                              |   |               |
| 第5回   | 授業を通じての到達目標 | 脊髄について理解でき、説明できる。                 |  | 「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」 医学書院 | ・講義のノートまとめ(図も記載すること)<br>・プリント課題<br>いずれも毎回提出 |               |
|   | 各コマにおける授業予定 | 4) 脊髄                             |  |                              |   |               |

| 授業の方法 |      | 内 容         |  | 使用教材                         | 授業以外での準備学習の具体的な内容   |
|-------|------|-------------|--|------------------------------|---|
| 第6回   | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 末梢神経系について理解でき、説明できる。                       | 「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」 医学書院 | <ul style="list-style-type: none"> <li>講義のノートまとめ (図も記載すること)</li> <li>プリント課題</li> </ul> いずれも毎回提出 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 3. 末梢神経系<br>1) 末梢神経の構造                     |                              |   |
| 第7回   | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 脳神経について理解でき、説明できる。                         | 「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」 医学書院 | <ul style="list-style-type: none"> <li>講義のノートまとめ (図も記載すること)</li> <li>プリント課題</li> </ul> いずれも毎回提出 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 2) 脳神経                                     |                              |   |
| 第8回   | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 骨髄神経と神経叢について理解でき、説明できる。                    | 「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」 医学書院 | <ul style="list-style-type: none"> <li>講義のノートまとめ (図も記載すること)</li> <li>プリント課題</li> </ul> いずれも毎回提出 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 3) 脊髄神経と神経叢<br>4) 自律神経系                    |                              |   |
| 第9回   | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 神経系の発生・発達・老化・脳・神経のメカニズムについて理解でき、説明できる。     | 「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」 医学書院 | <ul style="list-style-type: none"> <li>講義のノートまとめ (図も記載すること)</li> <li>プリント課題</li> </ul> いずれも毎回提出 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 4. 神経系の発生・発達・老化<br>5. 脳・神経のメカニズム           |                              |   |
| 第10回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 骨の機能・分類・長骨の機能・骨の形成、成長、および改造について理解でき、説明できる。 | 「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」 医学書院 | <ul style="list-style-type: none"> <li>講義のノートまとめ (図も記載すること)</li> <li>プリント課題</li> </ul> いずれも毎回提出 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 1. 骨の機能・分類・長骨の機能<br>1) 骨の形成、成長、および改造       |                              |   |
| 第11回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 体幹の骨格について理解でき、説明できる。                       | 「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」 医学書院 | <ul style="list-style-type: none"> <li>講義のノートまとめ (図も記載すること)</li> <li>プリント課題</li> </ul> いずれも毎回提出 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 2. 体幹の骨格                                   |                              |   |
| 第12回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 体肢の骨格について理解でき、説明できる。                       | 「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」 医学書院 | <ul style="list-style-type: none"> <li>講義のノートまとめ (図も記載すること)</li> <li>プリント課題</li> </ul> いずれも毎回提出 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 3. 体肢の骨格                                   |                              |   |
| 第13回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 関節について、骨格系の発生・発達・老化について理解でき、説明できる。         | 「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」 医学書院 | <ul style="list-style-type: none"> <li>講義のノートまとめ (図も記載すること)</li> <li>プリント課題</li> </ul> いずれも毎回提出 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 4. 関節<br>5. 骨格系の発生・発達・老化                   |                              |   |
| 第14回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 筋肉の構造・分類・機能について理解でき、説明できる。                 | 「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」 医学書院 | <ul style="list-style-type: none"> <li>講義のノートまとめ (図も記載すること)</li> <li>プリント課題</li> </ul> いずれも毎回提出 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 6. 筋肉の構造・分類・機能                             |                              |   |
| 第15回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 骨格筋の呼称・骨格筋の肉眼的解剖学について理解でき、説明できる。           | 「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」 医学書院 | <ul style="list-style-type: none"> <li>講義のノートまとめ (図も記載すること)</li> <li>プリント課題</li> </ul> いずれも毎回提出 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 7. 骨格筋の呼称<br>8. 骨格筋の肉眼的解剖学                 |                              |   |